

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年10月28日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL https://www.fanuc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	260,953	△ 24.4	49,024	△ 50.2	57,090	△ 49.0	40,185	△ 50.8
2019年3月期第2四半期	344,951	△ 0.8	98,428	△ 8.4	112,035	△ 5.4	81,693	△ 4.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 21,593百万円(△75.9%) 2019年3月期第2四半期 89,688百万円(△10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	208.91	—
2019年3月期第2四半期	421.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,504,237	1,352,301	89.4
2019年3月期	1,625,340	1,445,146	88.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,345,090百万円 2019年3月期 1,437,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	598.19	—	404.92	1,003.11
2020年3月期	—	125.35	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当252円87銭 特別配当345円32銭

(注) 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当224円34銭 特別配当180円58銭

(注) 2020年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	504,500	△ 20.6	69,100	△ 57.7	80,500	△ 56.1	57,900	△ 62.4	301.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「3. 注記事項に関する情報 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	204,031,841株	2019年3月期	204,040,771株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	12,127,818株	2019年3月期	10,210,522株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	192,359,131株	2019年3月期2Q	193,836,282株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知お願います。なお、2020年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
3. 注記事項に関する情報	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期における当社グループの業績は次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界において、米中貿易摩擦の影響により中国市場での機械需要が落ち込んだほか、中国市場に大きく依存している台湾でも機械需要が落ち込みました。韓国や比較的堅調であったインドも内需の弱さ等により、低調に推移しました。欧州と日本国内についても、設備投資抑制の動きを受け、需要が落ち込みました。レーザは、拡販に努めましたが、海外メーカとの競争がさらに厳しさを増しています。これらの結果、FA部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボット部門については、国内は自動車産業、一般産業ともに堅調に推移したものの、米州の自動車産業において設備投資の谷間が続いたほか、中国、欧州でも、自動車産業、一般産業ともに設備投資に慎重な動きが続きました。これらの結果、ロボット部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）において、自動車部品関係を中心に拡販に努めたものの、IT関係の一時的な需要分が残っていた前年同期に比べると売上が減少しました。ロボショット（電動射出成形機）については、自動車部品、医療市場向けに拡販に努めましたが、売上は若干減少しました。ロボカット（ワイヤカット放電加工機）についても、中国市場を中心に売上が減少しました。

このようななか当社グループは、長期的な視点に立った経営を続けるべく、「one FANUC」、「壊れない」「壊れる前に知らせる」「壊れてもすぐ直せる」および「サービス ファースト」をスローガンに掲げ、当社商品およびサービスを通じて、信頼性が高く効率的・先進的な生産体制をお客様が安心して構築・維持できるようにするための取り組みをグループ一丸となって推進しております。またIoTへの対応として、製造現場のオープンプラットフォームである FIELD system (FANUC Intelligent Edge Link and Drive system) を自社工場へも導入し、機能拡張およびアプリケーション（パートナー企業製を含む）の充実を図るとともに、AI技術の当社商品への適用等を進めております。そして、CNCとロボット、ロボットとロボマシンの融合のさらなる推進も、重要な取り組みの一つとして掲げております。また同時に、商品競争力の強化、セールス・サービス活動の強化、工場の自動化・ロボット化、業務の合理化に力を入れております。

当第2四半期における連結業績は、売上高が2,609億53百万円（前年同期比24.4%減）、経常利益が570億90百万円（前年同期比49.0%減）となりました。四半期純利益は、遊休資産に係る減損損失を特別損失に計上したこと等により、401億85百万円（前年同期比50.8%減）となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、FA部門が768億9百万円（前年同期比35.8%減）、ロボット部門が985億45百万円（前年同期比11.5%減）、ロボマシン部門が408億4百万円（前年同期比40.7%減）、サービス部門が447億95百万円（前年同期比1.1%減）でした。

※ [当四半期決算に関する定性的情報] における「四半期純利益」は、損益計算書における「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。(当期純利益もこれに準じます。)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前年度末比 1,211 億 3 百万円減の 1 兆 5,042 億 37 百万円となりました。

負債合計は、前年度末比 282 億 58 百万円減の 1,519 億 36 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 928 億 45 百万円減の 1 兆 3,523 億 1 百万円となりました。

なお当社は、当社の株主還元方針（2019年4月24日公表の2019年3月期決算短信に記載）に基づき、発行済株式総数の5%を超える自己株式（8,930株、88百万円）を2019年5月31日付で消却いたしました。（本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。）

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年度末比 1,067 億 31 百万円減の 5,009 億 83 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比 460 億 95 百万円減の 729 億 63 百万円であり、これは主に税金等調整前四半期純利益が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比 155 億 46 百万円減の 524 億 98 百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比 578 億 67 百万円増の 1,148 億 35 百万円であり、これは主に自己株式の取得による支出が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する説明

国家間等の貿易摩擦の影響を含む各国の通商政策や為替動向などの様々な不透明な要因から、総じて予断を許さない状況が続くものと思われます。

現時点での2019年度(2020年3月期)の連結業績予想は以下のとおりです。

通期

(金額：百万円)

	前回発表予想 (2019年7月29日)	今回発表予想	増減率
売上高	524,200	504,500	△3.8%
営業利益	71,300	69,100	△3.1%
経常利益	81,000	80,500	△0.6%
当期純利益	60,300	57,900	△4.0%

注) 2019年10月から2020年3月までの期間における為替レートは、平均100円/ドル、115円/ユーロを想定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	607,155	390,211
受取手形及び売掛金	106,204	94,952
有価証券	15,000	125,000
商品及び製品	71,042	68,314
仕掛品	55,174	51,952
原材料及び貯蔵品	29,930	28,851
その他	24,302	10,968
貸倒引当金	△1,123	△873
流動資産合計	907,684	769,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	301,179	312,798
土地	145,885	144,650
その他（純額）	127,512	136,861
有形固定資産合計	574,576	594,309
無形固定資産	9,603	9,949
投資その他の資産		
投資有価証券	86,674	85,157
その他	47,259	45,899
貸倒引当金	△456	△452
投資その他の資産合計	133,477	130,604
固定資産合計	717,656	734,862
資産合計	1,625,340	1,504,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,567	26,044
未払法人税等	15,007	12,711
アフターサービス引当金	8,215	8,311
その他	75,278	58,711
流動負債合計	135,067	105,777
固定負債		
退職給付に係る負債	42,097	42,136
その他	3,030	4,023
固定負債合計	45,127	46,159
負債合計	180,194	151,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,265	96,265
利益剰余金	1,380,439	1,342,054
自己株式	△91,040	△126,721
株主資本合計	1,454,678	1,380,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,111	9,407
為替換算調整勘定	△6,677	△26,947
退職給付に係る調整累計額	△19,337	△17,982
その他の包括利益累計額合計	△16,903	△35,522
非支配株主持分	7,371	7,211
純資産合計	1,445,146	1,352,301
負債純資産合計	1,625,340	1,504,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	344,951	260,953
売上原価	196,621	164,390
売上総利益	148,330	96,563
販売費及び一般管理費	49,902	47,539
営業利益	98,428	49,024
営業外収益		
受取利息	2,016	2,059
受取配当金	1,014	1,008
持分法による投資利益	8,068	4,888
為替差益	3,136	—
雑収入	1,488	1,614
営業外収益合計	15,722	9,569
営業外費用		
固定資産撤去費用	1,284	684
為替差損	—	485
雑支出	831	334
営業外費用合計	2,115	1,503
経常利益	112,035	57,090
特別損失		
減損損失	—	1,973
特別損失合計	—	1,973
税金等調整前四半期純利益	112,035	55,117
法人税、住民税及び事業税	34,108	14,205
法人税等調整額	△3,991	87
法人税等合計	30,117	14,292
四半期純利益	81,918	40,825
非支配株主に帰属する四半期純利益	225	640
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,693	40,185

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	81,918	40,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,311	296
為替換算調整勘定	10,813	△18,792
退職給付に係る調整額	672	1,355
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,404	△2,091
その他の包括利益合計	7,770	△19,232
四半期包括利益	89,688	21,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,314	21,566
非支配株主に係る四半期包括利益	374	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	112,035	55,117
減価償却費	17,869	22,209
減損損失	—	1,973
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△214	△222
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	677	319
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	455
受取利息及び受取配当金	△3,030	△3,067
持分法による投資損益 (△は益)	△8,068	△4,888
売上債権の増減額 (△は増加)	56,883	9,195
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,648	2,944
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,496	△9,393
その他	△1,647	4,115
小計	157,361	78,757
利息及び配当金の受取額	11,014	9,721
法人税等の支払額	△48,874	△15,943
その他	△443	428
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,058	72,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,510	△14,413
定期預金の払戻による収入	22,294	14,228
有形固定資産の取得による支出	△65,312	△49,432
その他	△2,516	△2,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,044	△52,498
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△107	△35,769
配当金の支払額	△57,746	△78,439
その他	885	△627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,968	△114,835
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,415	△12,361
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,461	△106,731
現金及び現金同等物の期首残高	725,903	607,714
現金及び現金同等物の四半期末残高	727,364	500,983

3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2019年4月24日開催の取締役会決議および2019年7月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,923,000株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取りによる増加等を含め、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が35,681百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は126,721百万円となっております。